

# 景気見通し調査(平成29年12月期)

## 調査結果

福井商工会議所  
中小企業総合支援センター

### 【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

**調査時期** 平成29年12月8日(金)～12月12日(火)

**調査方法** FAXによる送付、回収

**調査対象** 福井商工会議所 会員小規模事業所より 400件を抽出

(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所

卸売業・小売業、商業・サービス業・その他・・・従業員5人以下の事業所)

**回答数** 206件 (回収率51.5%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
5名以内	15	14	16	17	20	82(46.3%)
6～10名以内	12	15	1	3	3	34(19.2%)
11名以上	15	10	10	8	18	61(34.5%)
計	42(23.7%)	39(20.5%)	27(15.3%)	28(15.8%)	41(23.2%)	177

※業種未回答 29件除く

### DI値とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇した」とする企業割合から、「悪い」「下落した」とする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果の概要】

3期連続の改善傾向

～業界全体では改善傾向も、仕入価格では悪化～

■業界の景況

- ・3期連続の改善
- ・全業種において数値改善
- ・3ヶ月後は全業種において悪化の見込み

■仕入価格

- ・大幅な悪化
- ・全業種において悪化
- ・3ヶ月後は製造、卸売業のみ悪化の見込み

■自社の景況

- ・3期連続の改善
- ・卸売、サービス業のみ悪化
- ・3ヶ月後は小売業のみ悪化の見込み

■販売価格

- ・大幅な改善
- ・全業種において改善
- ・3ヶ月後は製造、建設業のみ改善の見込み

■売上高(受注高)

- ・2期連続のわずかな改善
- ・建設、サービス業が悪化
- ・3ヶ月後は建設、サービス業のみ改善の見込み

■採算(収支)

- ・2期ぶりの改善
- ・製造、小売業のみ改善
- ・3ヶ月後は全業種において悪化の見込み

■業界別の動向

業種	コメント	前回調査との比較					
		業界の景況	自社の景況	売上高 (受注高)	仕入価格 (商品、資材、 原材料等)	販売価格 (受注単価)	採算(収支)
全業種		↑	↑	↑	↓	↑	↑
製造業	+ AIやIoTを活用できている	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	+ 自社販売の強化	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 受注不足	↑	↑	↑	↓	↑	↑
建設業	- 10月に台風21号の影響を受けた	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	+ 受注良好	↑	↑	↓	↓	↑	↓
	+ 福井国体や新幹線整備	↑	↑	↓	↓	↑	↓
卸売業	- 営業力不足	↑	↑	↓	↓	↑	↓
	- 人手不足	↑	↓	↑	↓	↑	↓
	+ 売上不振	↑	↓	↑	↓	↑	↓
小売業	+ 大型チェーン店向けの出荷があった	↑	↓	↑	↓	↑	↓
	- 販売先の不振	↑	↓	↑	↓	↑	↓
	- 利益率の低迷	↑	↓	↑	↓	↑	↓
サービス業	+ 新規顧客の獲得	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	+ 売場のレイアウトの改善	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 人手不足	↑	↑	↑	↓	↑	↑
サービス業	- メーカーからの仕入値の上昇	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	+ 積極的な営業	↑	↓	↓	↓	↑	↓
	+ 売上の安定	↑	↓	↓	↓	↑	↓
サービス業	- 売価は変わらず、仕入価格は上昇している	↑	↓	↓	↓	↑	↓
	- 人手不足、燃料代の高騰	↑	↓	↓	↓	↑	↓

※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を表している。

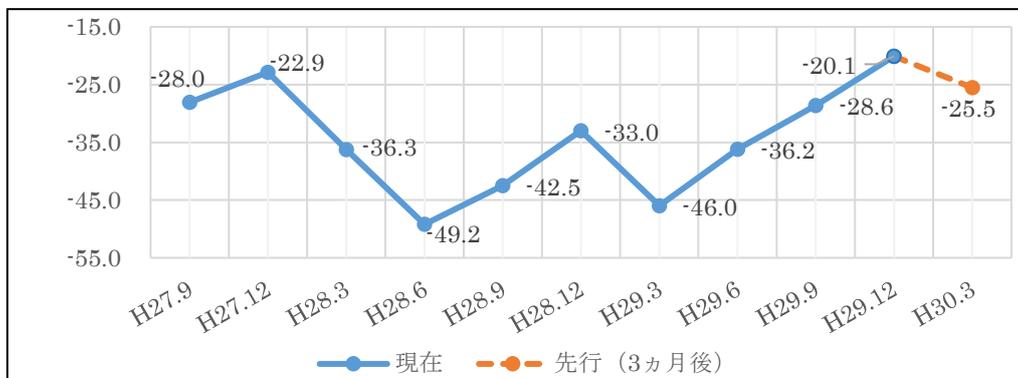
■調査結果概要(調査項目)

	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
<b>業界の景況</b>	-20.1	8.5	-25.5	-5.4
製造業	-16.7	10.0	-27.5	-10.8
建設業	-2.4	10.9	-5.3	-2.9
卸売業	-50.0	2.9	-53.3	-3.3
小売業	-31.0	13.4	-35.7	-4.7
サービス業	-13.6	5.5	-14.6	-1.0
<b>自社の景況</b>	-22.4	0.7	-29.7	-7.3
製造業	-17.6	7.4	-26.8	-9.2
建設業	-2.3	2.1	-11.8	-9.5
卸売業	-50.0	-2.9	-61.5	-11.5
小売業	-32.3	1.0	-25.0	7.3
サービス業	-20.5	-5.3	-30.3	-9.8
<b>売上高</b>	-17.6	4.9	-24.0	-6.4
製造業	-11.3	12.0	-14.8	-3.5
建設業	-19.0	-14.6	-16.7	2.3
卸売業	-21.9	25.2	-48.4	-26.5
小売業	-17.2	12.4	-33.3	-16.1
サービス業	-20.9	-3.9	-18.6	2.3
<b>仕入価格</b>	-36.9	-14.2	-36.8	0.1
製造業	-42.6	-19.3	-43.4	-0.8
建設業	-31.0	-11.0	-29.3	1.7
卸売業	-34.4	-16.8	-35.5	-1.1
小売業	-41.4	-2.9	-40.0	1.4
サービス業	-34.2	-15.2	-34.2	0.0
<b>販売価格</b>	4.0	6.9	4.5	0.5
製造業	-1.9	4.8	1.9	3.8
建設業	4.8	9.3	9.5	4.7
卸売業	0.0	5.9	-3.2	-3.2
小売業	16.7	5.6	16.7	0.0
サービス業	4.9	7.1	0.0	-4.9
<b>採算(収支)</b>	-22.3	4.7	-32.7	-10.4
製造業	-22.2	14.5	-29.6	-7.4
建設業	-16.3	-4.9	-23.8	-7.5
卸売業	-37.5	-5.1	-51.6	-14.1
小売業	-10.0	23.3	-30.0	-20.0
サービス業	-25.6	-3.9	-33.3	-7.7

※青の塗潰しは改善を、赤の塗潰しは悪化を表している。

## 【業界の景況】

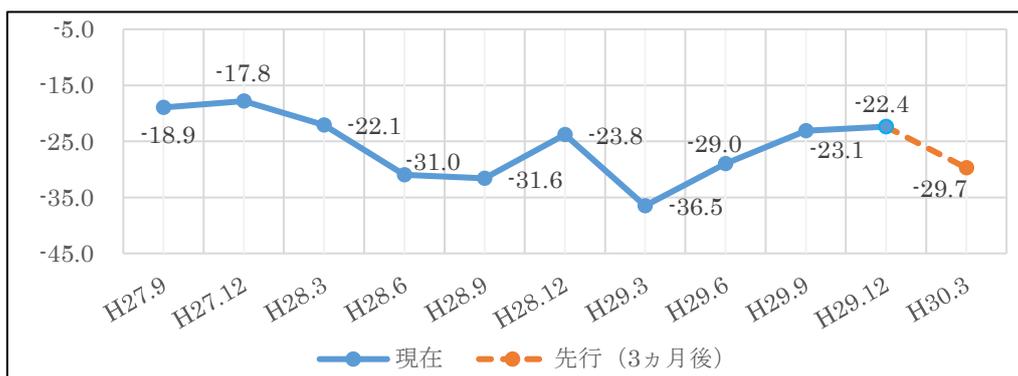
業界全体の現在 DI 値は▲20.1 を示し、前回調査（H29.9 期）から 8.5 ポイント改善し、3 期連続の改善となった。3 ヶ月後の動向を表す先行 DI 値は▲25.5 で、悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲16.7、建設業が▲2.4、卸売業が▲50.0、小売業が▲31.0、サービス業が▲13.6 となっている。前回調査と比較すると、全業種において改善が見られた。



業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-20.1	8.5	-25.5	-5.4
製造業	-16.7	10.0	-27.5	-10.8
建設業	-2.4	10.9	-5.3	-2.9
卸売業	-50.0	2.9	-53.3	-3.3
小売業	-31.0	13.4	-35.7	-4.7
サービス業	-13.6	5.5	-14.6	-1.0

## 【自社の景況】

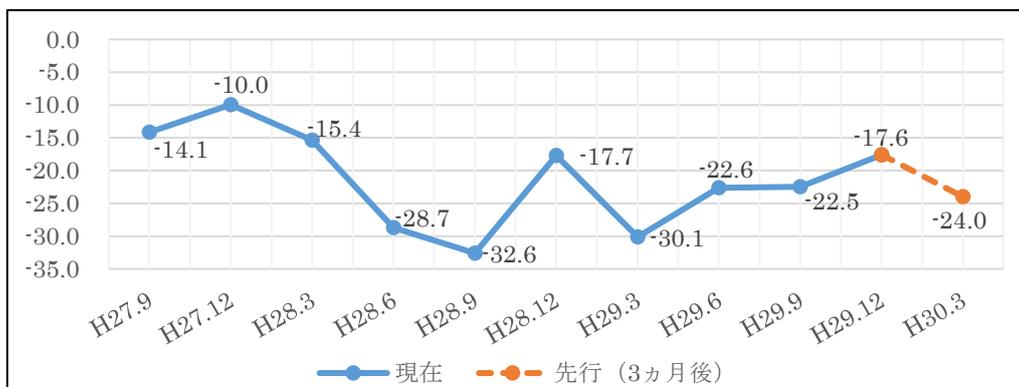
自社の景況は、現在 DI 値▲22.4 となり、前回調査より 0.7 ポイント改善した。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲29.7 で、現在より 7.3 ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲17.6、建設業が▲2.3、卸売業が▲50.0、小売業が▲32.3、サービス業が▲20.5 を示した。前回調査と比較すると、卸売業・サービス業以外の業種において改善が見られた。



自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-22.4	0.7	-29.7	-7.3
製造業	-17.6	7.4	-26.8	-9.2
建設業	-2.3	2.1	-11.8	-9.5
卸売業	-50.0	-2.9	-61.5	-11.5
小売業	-32.3	1.0	-25.0	7.3
サービス業	-20.5	-5.3	-30.3	-9.8

## 【売上高(受注高)】

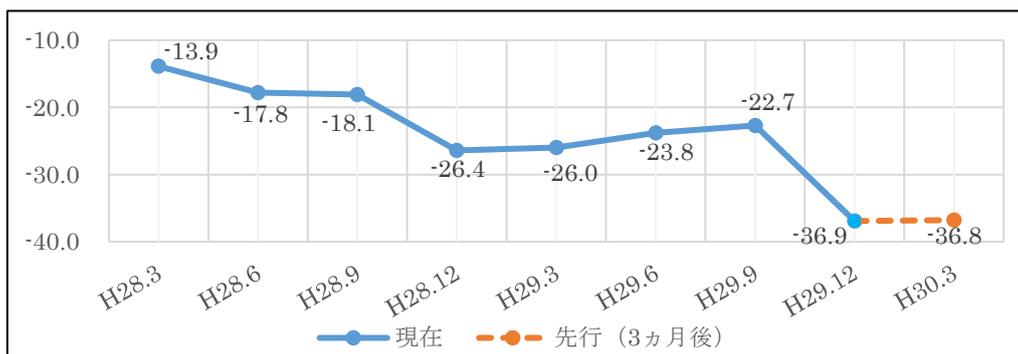
売上高(受注高)状況を表す現在DI値は▲17.6となり、前回調査から4.9ポイントの改善となった。3ヶ月後の先行DI値は、▲24.0と現在より6.4ポイントの悪化を予測している。業界別には、製造業が▲11.3、建設業が▲19.0、卸売業が▲21.9、小売業が▲17.2、サービス業が▲20.9となった。前回調査と比較して、建設業・サービス業が悪化となった。今後3ヶ月後の見通しは、建設業・サービス業のみが改善する見込みである。



売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-17.6	4.9	-24.0	-6.4
製造業	-11.3	12.0	-14.8	-3.5
建設業	-19.0	-14.6	-16.7	2.3
卸売業	-21.9	25.2	-48.4	-26.5
小売業	-17.2	12.4	-33.3	-16.1
サービス業	-20.9	-3.9	-18.6	2.3

## 【仕入価格】

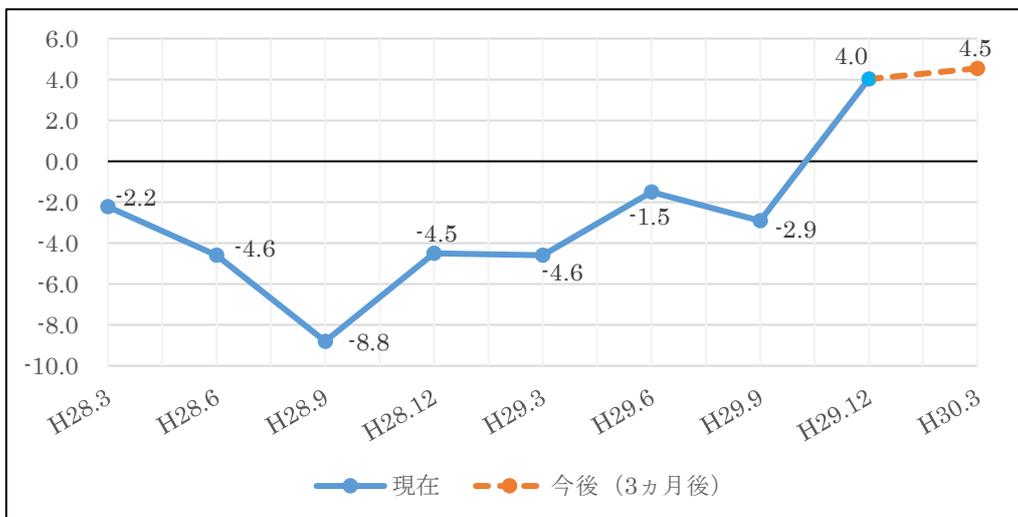
仕入価格の現在DI値は▲36.9で、前回調査から14.2ポイント減となり、大幅な悪化となった。3ヶ月後の先行DI値は▲36.8と、現在と比べ0.1ポイント増を予測している。業種別では、製造業が▲42.6、建設業が▲31.0、卸売業が▲34.4、小売業が▲41.4、サービス業が▲34.2となった。3ヶ月後の見通しは、建設業・小売業は改善する見込みである。



仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-36.9	-14.2	-36.8	0.1
製造業	-42.6	-19.3	-43.4	-0.8
建設業	-31.0	-11.0	-29.3	1.7
卸売業	-34.4	-16.8	-35.5	-1.1
小売業	-41.4	-2.9	-40.0	1.4
サービス業	-34.2	-15.2	-34.2	0.0

## 【販売価格】

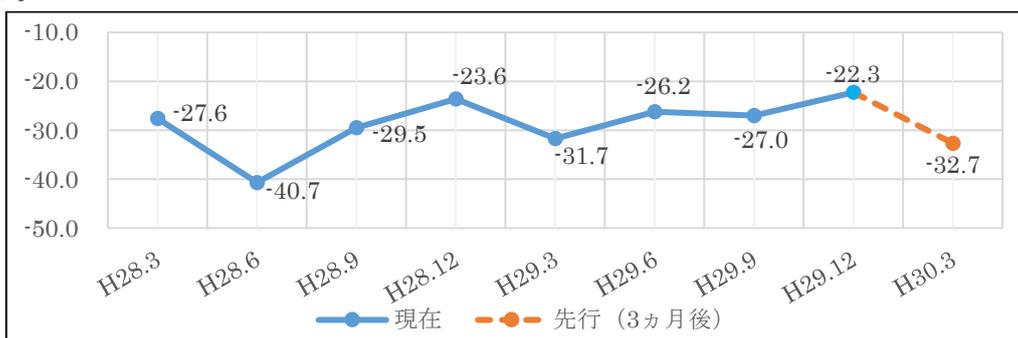
販売価格の現在 DI 値は 4.0 となり、前回調査から 6.9 ポイント改善している。3 ヶ月後の先行 DI 値は 4.5 で、0.5 ポイントの改善が予測される。業種別では、製造業が▲1.9、建設業が 4.8、卸売業が 0.0、小売業が 16.7、サービス業が 4.9 となった。業種別の先行 DI 値については、製造業・建設業が改善を見込んでいる。



販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	4.0	6.9	4.5	0.5
製造業	-1.9	4.8	1.9	3.8
建設業	4.8	9.3	9.5	4.7
卸売業	0.0	5.9	-3.2	-3.2
小売業	16.7	5.6	16.7	0.0
サービス業	4.9	7.1	0.0	-4.9

## 【採算(収支)】

採算(収支)状況を表す現在 DI 値は▲22.3 と、前回調査から 4.7 ポイント改善している。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲32.7 で、現在と比べ 10.4 ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲22.2、建設業が▲16.3、卸売業が▲37.5、小売業が▲10.0、サービス業が▲25.6 となった。3 ヶ月後の見通しは、全業種において悪化する見込みである。

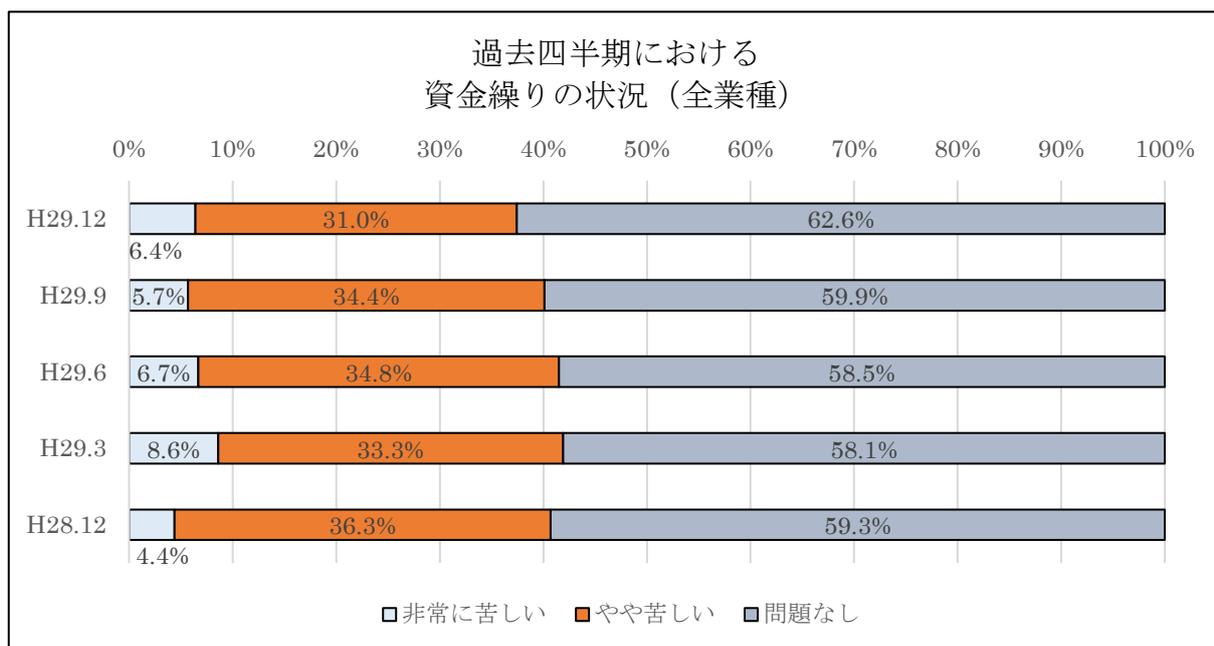
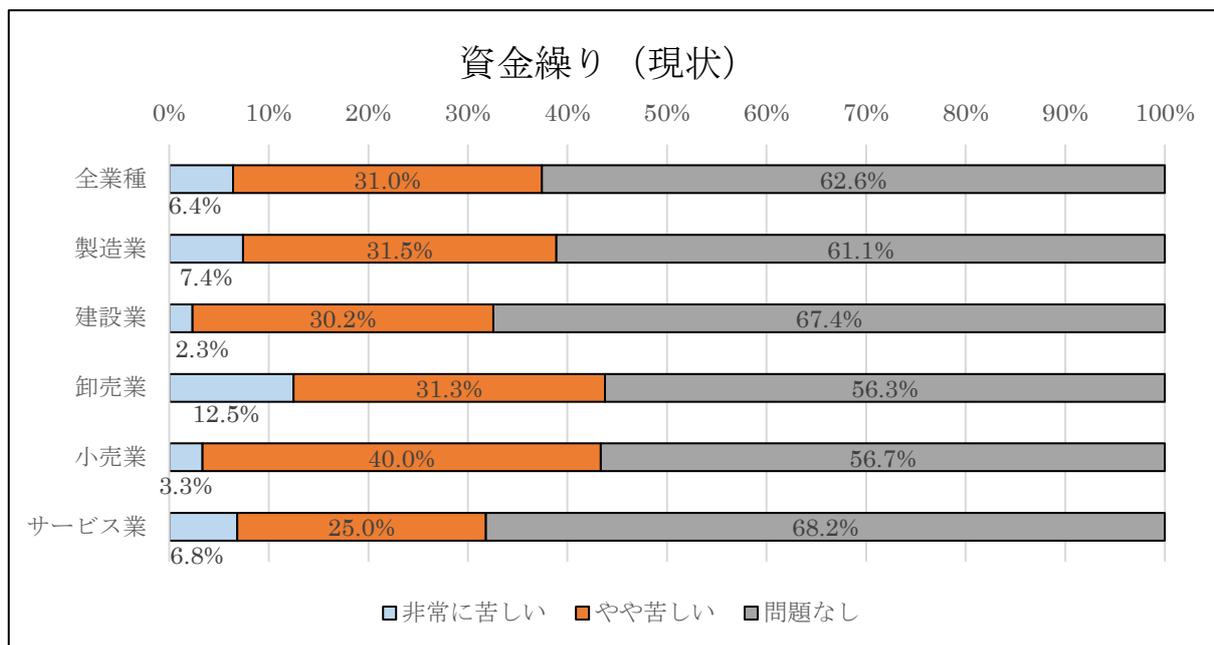


採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-22.3	4.7	-32.7	-10.4
製造業	-22.2	14.5	-29.6	-7.4
建設業	-16.3	-4.9	-23.8	-7.5
卸売業	-37.5	-5.1	-51.6	-14.1
小売業	-10.0	23.3	-30.0	-20.0
サービス業	-25.6	-3.9	-33.3	-7.7

## 【資金繰り】

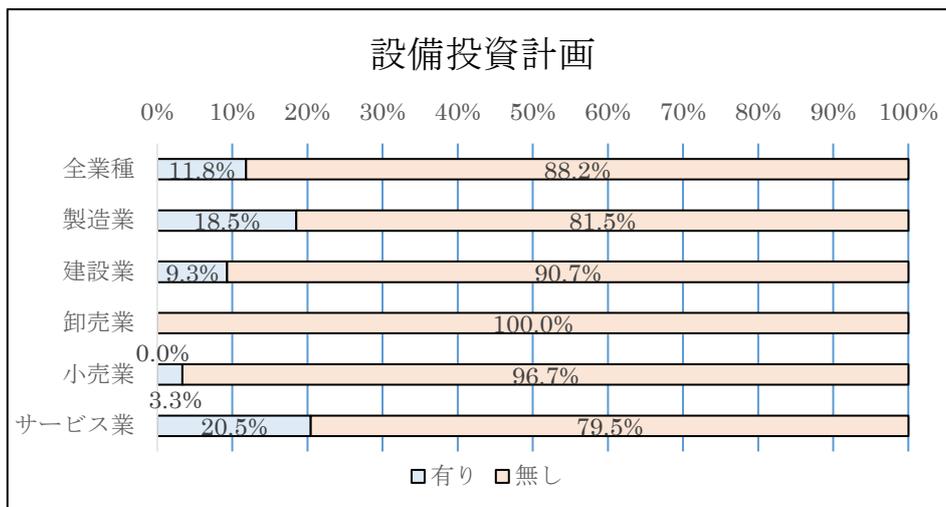
資金繰りの状況は、全業種の62.6%が「問題なし」と回答しており、業種別では、建設業・サービス業の資金繰りが比較的安定している。

過去四半期の資金繰り状況と比較すると、H29.3期から「問題なし」の回答率が每期上がっている。



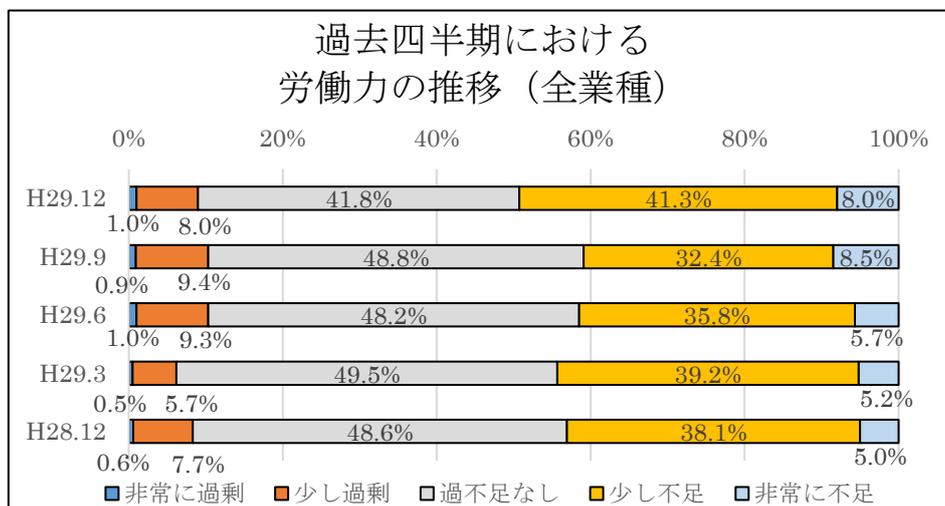
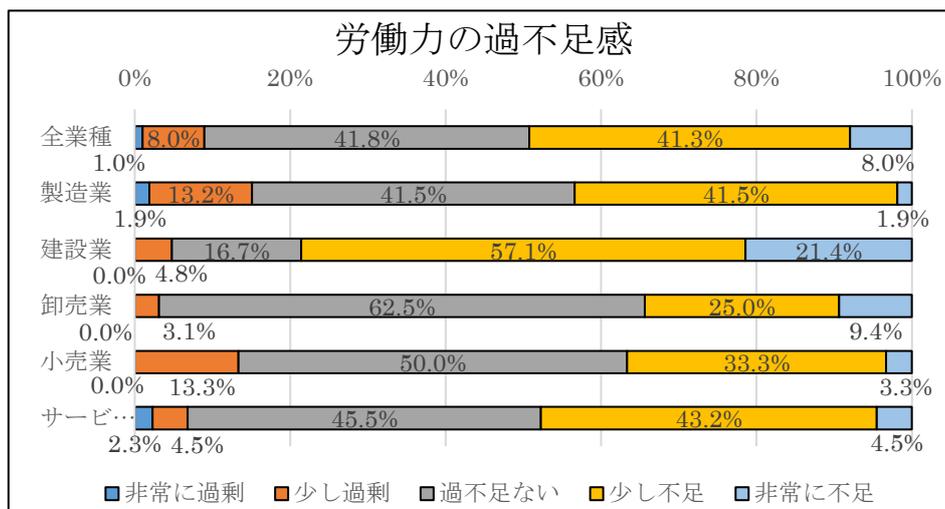
## 【設備投資】

今後3ヶ月以内に設備投資の予定があるかどうか伺ったところ、全業種では11.8%が「はい」と回答している。業種別では「はい」と回答した事業所は、製造業が18.5%、サービス業が20.5%となっており、他業種と比べると高い結果となった。



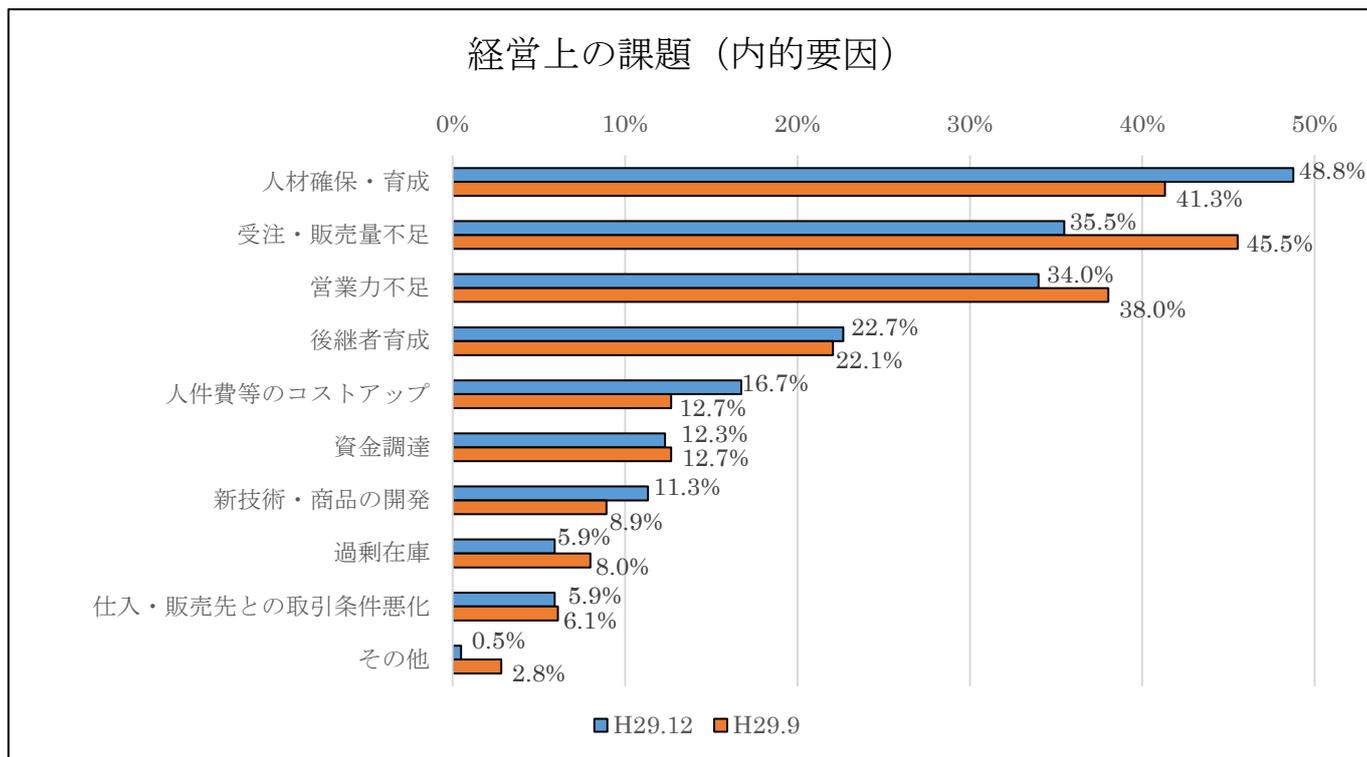
## 【労働力】

労働力の過不足感については、全業種では41.8%の事業所が「過不足ない」と回答した一方で、41.3%の事業所が「少し不足」と回答している。業種別では、建設業が「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」と回答した割合が他業種と比べて非常に高く、78.5%にも上る。



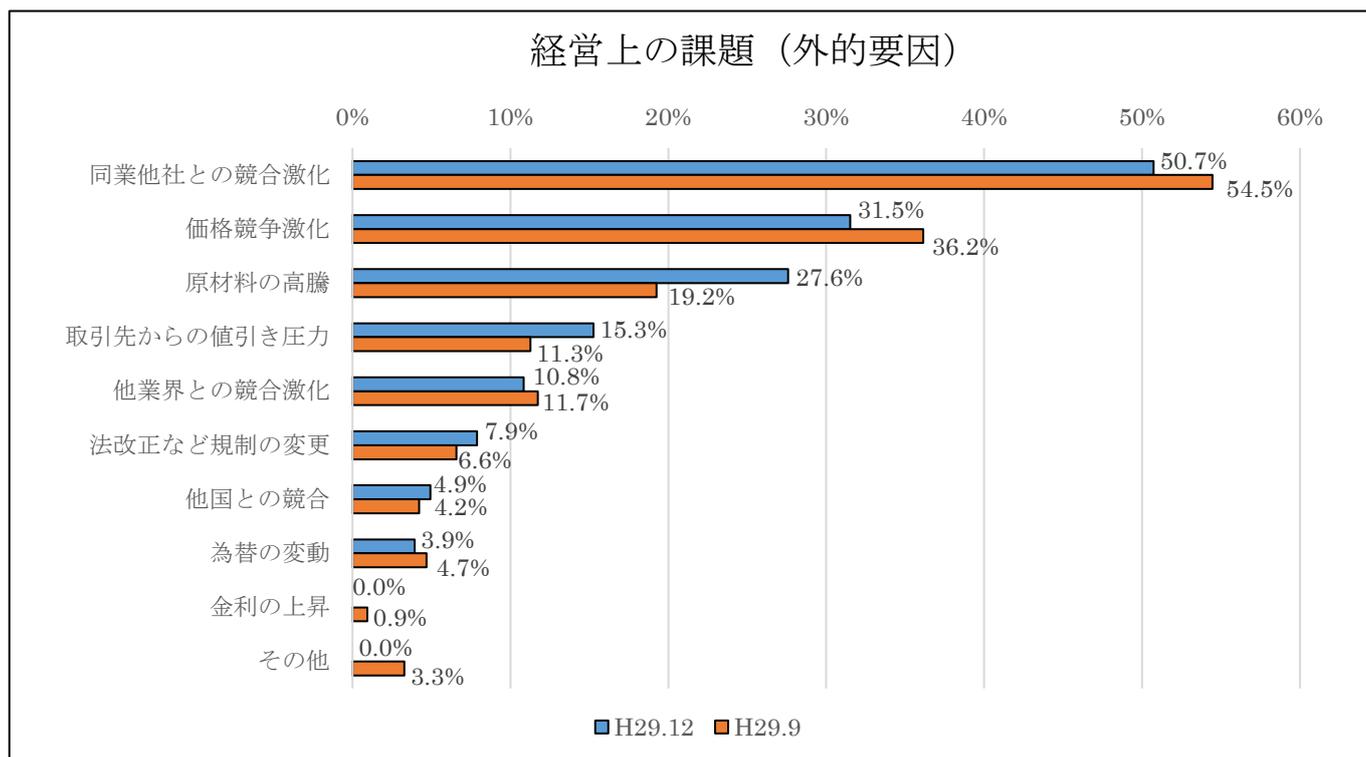
## 【経営課題(内的)】

経営上の課題（内的要因）については、「人材確保・育成」を課題にしている事業所の割合が前回調査時より7.5ポイントも高い。これは現在の県内有効求人倍率の高さを物語っている。次に割合が高かった課題として「受注・販売量不足」「営業力不足」があるが、数値は前回調査時より低い。



## 【経営課題(外的)】

経営上の課題（外的要因）として、半数以上の事業所が挙げたのが「同業他社との競争激化」であったが、数値は前回調査時の数値より低い。また前回調査時と同じく、次に数値が高い課題は「価格競争激化」「原材料の高騰」である。「原材料の高騰」の数値が前回調査時より8.4ポイント上がっており、「仕入価格」のDI値が今回大きく悪化した結果と結びつく。

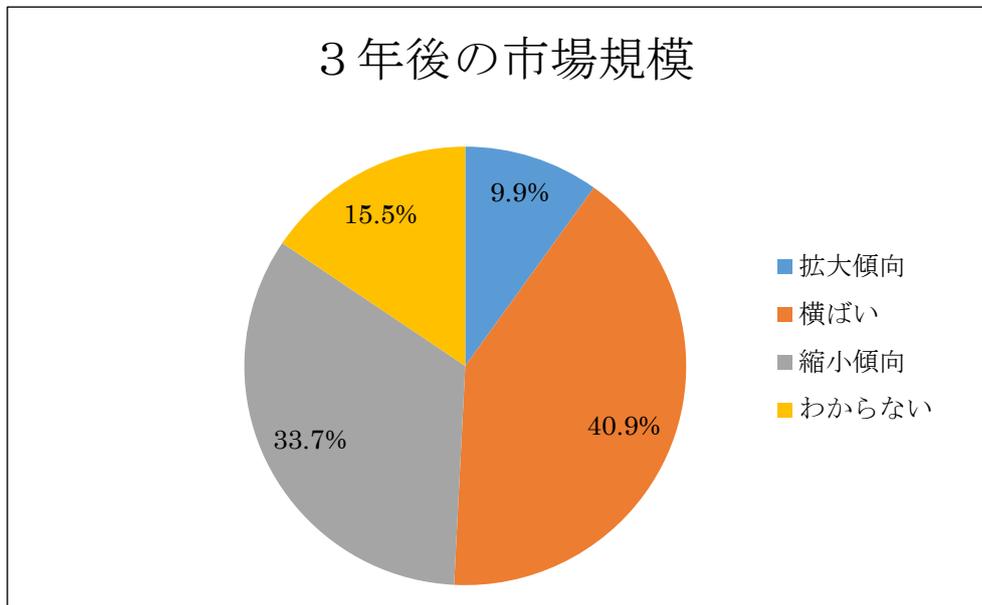


## トピックス調査【今後の展望について】

今回の調査時期が2017年の年末ということで、2018年に向けての各事業所の展望を伺った。

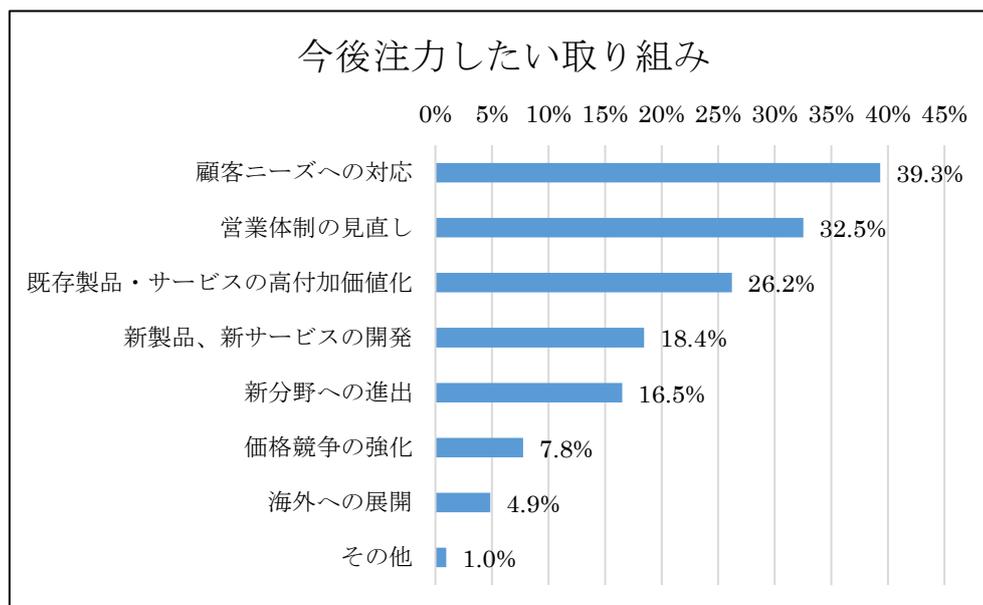
### 《3年後の市場規模》

それぞれの事業所の製品・商品・サービスの3年後の市場規模について、どのように思うか伺ったところ、「拡大傾向」と回答した事業所は9.9%と低く、「横ばい」が40.9%、「縮小傾向」が33.7%という結果になった。



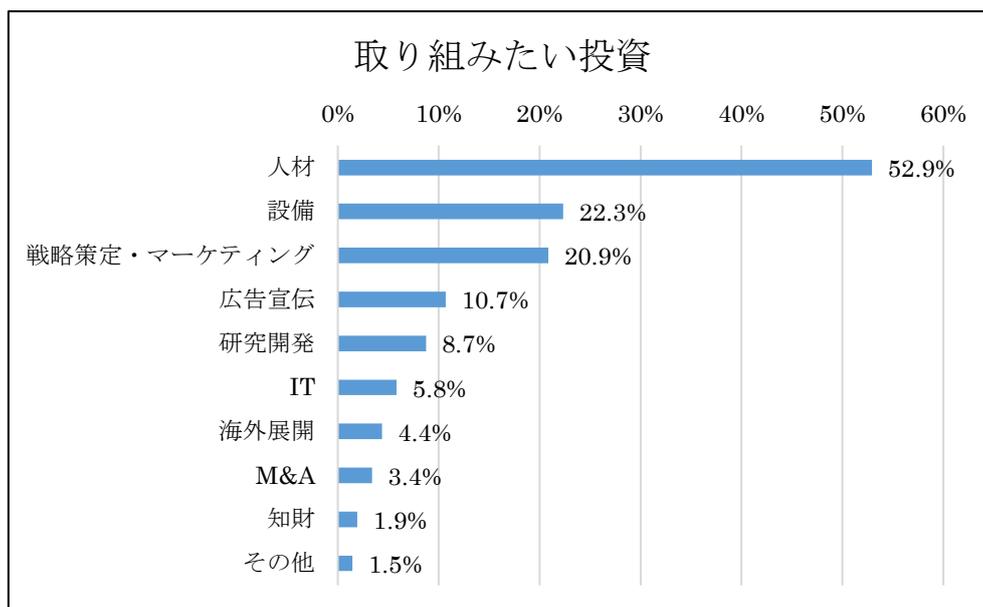
### 《今後注力したい取り組み》

業績拡大に向けて、今後注力したい取り組みについて伺ったところ、「顧客ニーズへの対応」が39.3%と最も高かった。「営業体制の見直し」と「既存製品・サービスの高付加価値化」も比較的多くの事業所が回答している。対して、海外への展開は4.9%にとどまった。



## 《今後取り組みたい投資》

2018年度以降に取り組みたい投資について伺ったところ、「人材」と回答した事業所が半数を超える52.9%、次に「設備」「戦略策定・マーケティング」という結果となった。経営資源の中で人材を課題としている事業所が多いことが分かる。



## 《事業方針（計画）の策定》

事業方針（計画）の策定について伺ったところ、「策定している」と回答した事業所は28.3%という結果となった。「策定したいが出来ていない」事業所が49.5%、「策定したいが仕方が分からない」事業所が9.2%と、約6割の事業所が事業方針（計画）の策定の必要性を感じているが実行できていないことが分かる。

